

ひょうご部落解放・人権研究所

編集・発行 /

一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

〒 650-0003

神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2 階

TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281

e-mail : blrhyg@extra.ocn.ne.jp

URL : http://www6.ocn.ne.jp/~blrhyg/



2014 所長あいさつ



各種世論調査で、反対という回答が賛成のそれを大きく上回っていたにもかかわらず、12月6日、特定秘密保護法が自公の強行採決により参議院で成立しました。これ以上、審議を続けると、次から次へとボロが出て、反対の世論がさらに高まってしまうから、早く決めてしまえ、ということだったのでしょ。広島高裁岡山支部から選挙は無効という判断を下された参議院での強行採決、とても笑えないブラックジョークです。そもそも去年の参院選の比例区での自民党の得票率は27%にすぎません。有権者総数に対する得票率では17%です。結局、野党の乱立と低投票率が自公の安定多数をもたらしてしまったのですが、与党は非常に低い得票率しか得ていないことを自覚すべきです。

参院選での圧勝で「ねじれ」が解消すると、公約にもない特定秘密保護法を持ち出し、そして今度は共謀罪です。共謀罪が成立してしまうと、無制限に恣意的な運用が行われるでしょう。それは特定秘密保護法に反対するデモをテロ行為とみなした石破発言からも想像できます。

当分のあいだ、国政選挙はありません。現政権の暴走を止めるには、いまの日本がとんでもない方向に進もうとしているという危機感を多くの人たちと共有することです。そのために、研究所は情報発信を続けていきます。

一般社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

所長 石元清英

新着図書

2012年11月

- 『あまがさき人権まつり 2012—熱と光の祭典』(あまがさき人権まつり実行委員会、2012. 11)
- 『「解放新聞」滋賀県版で見る県内の差別事件』(部落解放同盟滋賀県連合会、2012. 11)
- 『あまがさき人権まつり 2012—熱と光の祭典』(あまがさき人権まつり実行委員会、2012. 11)
- 『人権についての姫路市民意識調査結果報告書』(姫路市、姫路市人権啓発センター、2012. 3)
- 『人権問題研究叢書 歴史のなかの女性の人権』(世界人権問題研究センター、2012. 12)

12月

- 『ガイドブック 大村沿岸をフィールドワークする—キリスト教受難と戦争の遺構を訪ねて』(長崎人権研究所、2012. 11)
- 『第1回 DPI 障害者政策討論集会』(DPI 日本会議、2012. 12)
- 『篠山市合併検証報告—明るい未来をめざして』(兵庫地方自治研究センター/篠山市職員労働組合、2012. 9)
- 『2010年度こどもの里 事業報告書』(カトリック大阪大司教区こどもの里)
- 『2011年度こどもの里 事業報告書』(カトリック大阪大司教区こどもの里)

2013年1月

- 『平成24年度 人権問題文芸作品「のじぎく文芸賞」』(兵庫県/兵庫県人権啓発協会、2012. 12)
- 『在日コリアン人権白書 2012年版』(大阪国際理解教育研究センター(KMJ)、藤原史朗/高敬一/宋柔京、2012. 2)

2月

- 『人権学習資料 31 災害と人権～災害に強い社会をつくるために』（鳥取県人権文化センター）
- 『兵庫在日外国人権協会 第17回総会議案書』（兵庫在日外国人権協会、2013.1）

3月

- 『IMADR-JC ブックレット 14 平和は人権 普遍的实现をめざして』（反差別国際運動日本委員会（IMADR））

- 『平成24年度 人権啓発ビデオ活用ガイド ほんとの空』（兵庫県健康福祉部 社会福祉局人権推進課／兵庫県人権啓発協会、2013.2）
- 『AWEP2013SPRINGCOLLECTION』（アジア女性自立プロジェクト（AWEP））

※一部を除く所蔵図書の「のじぎく会館」への寄贈等のため、図書の整理が遅れております。一部利用できない図書がありますので、図書をご覧になりたい方は、必ず事前にお問い合わせください。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

まんがのすゝめ



『にこたま』 第1巻～第5巻

渡辺ペコ／講談社モーニング KC 2010年1月～2013年3月
定価：各 552円（税別）



ふと気がつくと、周りには三〇代から四〇代の人には独身が多い。一昔前、筆者の若いころには親や周りからうんざりするほど聞かされた「ケッコンテキレイキ」とは今、いったいどの年代にあてはまるのか。っていうか、そんな言葉、とんと耳にしなくなった。

今回紹介する漫画『にこたま』は、交際9年・同棲5年、30代を目前とした浅尾温子（あっちゃん）と岩城晃平（コーヘー）のカップルが織りなす、ゆらめく青春白書である。タイトルの「にこたま」とは、男性の体の中心でバランスをとっているふたつの玉、のこと。コーヘーは、ふとしたはずみで会社の上司である高野さんと一度だけ関係をもつが、彼女は妊娠し「1人で子どもを産んで育てる」と宣言する。大好きなあっちゃんとの平穏な生活を続けたい、そしていずれは結婚したい。でも子どもを作った「男としての責任」はどうだ？ あっちへゆらぎ、こっちへゆらぎ、コーヘーのふたつの玉はバランスをとれない。そんな中、あっちゃんに子宮の病気が発覚し、妊娠する可能性がないことがわかる――。

レンアイ セックス ケッコン ニンシン

女であるのにそれらを享受、あるいは全うしないなんておかしい
っていうか大丈夫？

と言わんばかりの煽りのアナウンスが、様々な形で巷にはあふれているから、
それらのどれにも夢中にならずに（あるいは切望せず）生きているのは
「不自然な女」「つまらない女」「素直でない女」

とされているような気がする

寢床に入り天井を見上げながら、あっちゃんは「ほっといてちょんまげー」とつぶやく。

渡辺ペコが描く登場人物は突出した個性があるわけではないけれど、脇役の一人までそれぞれに魅力的だ。男のコーヘーは（立場も立場だし）オロオロするけれど、彼なりにきちんとあっちゃんや高野さん、それからまだ見ぬわが子に向き合おうとする。女性たちはときに迷いもあるけれど、男たちよりずっとしっかり、我が道を選択する。深刻な状況であるほど、人はどこか可笑しい。だからこそ少し息を抜き、前を向いて歩きだせる。人生は、その人のもの。ベストでも、そうでなくても、岐路にたてば選択しながら紡いでいくものだ。

雑誌『ダヴィンチ』電子版で「30代独身男子が読むべき結婚マンガ・ベスト5」の堂々第1位にランクインした本作。漫画というより、上質な小説のような読後感がある。男性にも女性にもぜひおススメしたい、珠玉の一作である。（K）

本の紹介

『海軍めしたき物語』 『海軍めしたき総決算』

高橋孟著、新潮社、1979年8月／1981年7月刊(絶版)

敗戦からおおよそ70年、かつての戦争を知り考えることの大切さは、ますます増している。戦争を知るには軍隊を知る必要があるが、現代人には分かりにくい。日本軍の仕組みについて説明を試みた本はあるが…、大概つまらない。ならどうするか。元軍人による戦争体験記(いわゆる「戦記物」)を読んでみてはいかがであろうか。個別具体的な体験記を読むことで戦場の実相と軍隊組織の一端を知ることができる。ただ、戦争体験と一口に言っても千差万別だ。どんな立場でどこにいたのかで全く違う。だから複数読まなくてはならない。そこで初めて読む戦記物として、『海軍めしたき物語』とその続編『海軍めしたき総決算』を勧める。



定価 750円

著者の高橋孟は神戸新聞で長らく時事漫画「笑点」を連載するなどした漫画家・挿絵画家。東京に出て働きながら、「今日は銀座、明日は新宿と色男気取りで遊び歩いていた」が、太平洋戦争開戦11ヵ月前の1941年1月に徴兵された。「海軍の服装は陸軍さんよりもスマートだから、女の子にもてるに違いない」ということで



定価 750円

海軍へ行き、主計課に配属される。主計課とは衣類・食糧と会計を司る部署で調理も行う。高橋も軍艦の中の烹炊所(調理室)で乗組員の食事を作っていた。他科の兵隊からは「主計兵が兵隊ならばトンボ蝶々も鳥のうち」などとバカにされていたが、金と食糧を握っているのが強みだった。

この2冊の長所は、絵入り(漫画)で読み易いこと(陰惨な話も楽しく読めてしまう…)、何事も率直に語られていること。例えば慰安所を利用したことについても絵入で率直に述べている。その書き方を不快に思う人も多いただろうが、そういったことも含めて、実体験者の感覚を知れて貴重である。

戦記物にそもそも拒否感のある人もいるだろうが、体験者の証言を読むことは決して無駄ではないと思う。両書はベストセラーになったので、Amazonその他、古本で簡単に入手できる。ぜひとも一読されたい。(かま)



★入場無料★

2014年4月5日(土)

コンサート

●『もとまちウキウキ～音あそび～』

- ・時間:13:00～
- ・場所:風月堂元町本店地下ホール

- ▶障がい者作業所製品ワゴンセール 『ハートショップ』
- ▶作業所新商品の展示 『神戸ハンドメイドコレクション社』
- ▶東日本大震災復興支援プロジェクト・作業所バザール
- ▶チンドンさんの練り歩き

2014年4月4日(金)～8日(火)

障がい者アート作品展

●『ドギドギ展～風景画～』

- ・時間:10:00～18:00(最終日は16:00まで)
- ・場所:まちづくり会館地下ホール

2014年4月6日(日)

劇団クラルテによる

●『人形劇とたのしい人形づくり』

- ・時間:13:30～15:00
- ・場所:まちづくり会館2階ホール(予定)
- ・演目:「絵姿ようぼう」 ※要事前申込

人権歴史マップ連続セミナー第5回

『人・街・ながた震災資料室—震災から19年、復興への道のり』

長田区役所には、1997年、震災の状況を長く記憶するため、職員有志により「人・街・ながた震災資料室」が開設されています。今回は震災時長田区役所職員として復興業務に当たられ、資料室の開設にもかかわらず清水誠一さんを講師としてお招きし、当時の状況などをお話しいたします。たくさんのご参加をお待ちしております。

- 講師：清水誠一さん（人・街・ながた震災資料室）
- 日時：2014年1月11日（土） 午後2時～3時30分
- 参加資料代：500円
- 会場：兵庫人権会館2階
- 問合せ：（社）ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-252-8280 mail：blrhyg@extra.ocn.ne.jp

※当日参加も受け付けますが、できるだけ事前にお申込み下さい。



地震発生時刻を指したまま止まった時計
（神戸市立丸山中学校西野分校にあったもの）



頒価：1200円

新刊
絵本

かめたろう

兵庫県人権保育研究協議会（ハック）から、絵本『かめたろう』が発行されました。

子どもたちが、かめたろうを通して、成長していくストーリーの中に、友だちへのまなざし、子どもの成長を見通したおとなの関わり、動物に対する対等な目線など、実話を元にした子どもたちの生き生きした姿が描かれています。ぜひ、ご一読ください。

■お問合せ 兵庫県人権保育研究協議会（ハック）

神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館内
TEL:078-222-4747 FAX:078-222-6976



事務局から

○かめたろうのぬいぐるみを作りました。縫い目も雑ですが、ブサかわいい…♡愛着が湧いてしまって、手を離れた今、さみしい気持ちでいっぱいです。もう一匹つくろうかな… (>_<) (ひ)

○少しずつたまった仕事が山になりつつあります。しかし何やらかんやらで片付きません。きっと今年も何やらかんやらですが、頑張ります。関係各位、申し訳ありません。(かま)

○次女が成人式を迎えます。日韓ダブルの娘たち。長女のときは着物姿の艶やかさに見とれましたが、一抹の寂しさが…。でも次女はチマ・チョゴリを着ると言うので母は小躍り♪がぜん気合い入ります。(K)

○今も、生きることができています。感謝！今年「フクシマ」を出て3年目の年になります。被災地の子どもたちが、健康で普通の生活ができる様に何かが変わればいいなあ～。(ハシ桃)

○『言霊』（藤原書店）を読んだ。石牟礼道子と多田富雄の「魂といのちをめぐる往復書簡」。この厳しい時代に、地に足つけて何を大切に生きていくべきなのかを考える日々です。(H)

facebook やってます♪

イベントのお知らせはもちろん、日々の色んなことも書いています。
たくさん“いいね”お待ちしております★